

フリーキック

神戸市選抜U-12「中国・上海」キャンプ

神戸市サッカー協会は、2000年度より2006年兵庫県国民体育大会に向けた長期的な選手育成強化の展望に立って、U-12 (小6卒業時) 選抜の海外キャンプを行うことになった。2000年度は韓国ソウル市、2001年度は中国上海市を訪問。2002年度は中国上海市へ派遣の予定であったが、イラク戦争とサーズの影響で中止。2003年度は中国上海市、2004年度も、2005年3月に予定通り上海市を訪問した。(3月26日～30日の4泊5日)

参加したのは、市内の小6 (1992年4月1日以降生) の優秀選手28名 (水黒 知也、松尾 優作、原田 亮、大社 勇太、川畑 将人、久保田 輝、平野 賢一郎、小原 周平、坂田 昂史、和田 憲悟、三輪 優平、山口 啓太、和田 篤紀、山下 翔平、川田原 璃旺、岡田 千裕、本玉 林平、森安 祐介、牧野 虎太郎、藤本 昂洋、妻鹿 倫征、橋川 将吾、谷 良輔、古株 弘樹、古川 陽平、昌子 源、北村 拓也、明神 豊) と役員10名の38名を派遣した。

試合は、A・Bチームに分かれて、27、28日に各2試合ずつ (計4試合) 行った。結果は、Aチームが3勝1敗、Bチームが2勝1分1敗。

神戸の少年サッカーリーグで8人制サッカーを導入した理由に、“フットボール能力を高めるため”という狙いがあったにも関わらず、昨年の上海キャンプ、神戸カップでのボカ・ジュニアーズ (アルゼンチン) 戦で神戸の子供たちは、数的有利を作り出すポジション取りの遅さという弱点をさらけ出した。しかし、それから約半年の今回、少しずつではあるが遅く、戦術的理解も深くなり、プレーの意図を感じさせてくれる内容の良い試合を見せてくれるようになった。

今年のチームは、サッカーのレベルでは歴代の神戸市選抜のトップクラスに位置すると言えるが、オフ・ザ・ピッチでの行動 (社会生活のマナー) に関しては、物足りなく感じた。神戸市サッカー協会の少年選抜活動は、サッカーの指導だけでなく、大人になるために必要な、また、将来の市内のリーダとなる人材を育成するために必要な内容を、もう一度考え直していきたい。

ろっかーるーむ

施設紹介

施設

広報紙のリニューアルについて

広報

今年4月より神戸市で2施設が新設およびリニューアルしました。

【いぶきの森グラウンド開設】

グラウンドは、天然芝1面・人工芝1面及びクラブハウスが設置されています。人工芝グラウンドにおいて、各種別の公式戦を予定しています。グラウンドの場所は、ヴィッセル神戸のHPをご覧ください。

http://www.vissel-kobe.co.jp/ibuki/index.html

【垂水スポーツガーデンがリニューアルオープン】

新しいグラウンドは旧の会場より約500m西へ移動し、山陽電鉄東垂水駅の南側です。会場は、サッカーコートはもちろんフットサルコート2面も備えています。詳細はHPにてご確認ください。

http://www.tarumi-sports-garden.com/

【施設委員会 神藤】

2001年に神戸市サッカー協会広報紙「神戸のサッカー」がホームページと同時にスタートして、今回で5年目を迎えます。創刊から、フルカラー6面のスタイルで4年間発行して参りましたが、広告の減少等で予算を縮小せざるをえなくなり、勝手ながら本号からモノクロ4面のスタイルにリニューアルさせていただきました。

内容に関しては、試合結果等の速報ものはホームページをご覧ください。広報紙では各種のトピックス、動きをみなさんにお届けしたいと思っております。

昨年ヴィッセル神戸の監督をされた加藤寛さんが、私が中学・高校時代 (25年ほど前) 「神戸のサッカー」 (その後休刊) を発行されてきました。当時御影工業高校の永島昭浩さん (元ヴィッセル神戸)、御影高校の和田昌裕さん (元ヴィッセル神戸選手・現育成部長) の事は、この広報紙で知りました。

神戸出身の選手がヴィッセル神戸や日本代表で活躍するまでの過程や神戸がサッカー王国復権に向けてどのような活動をしているかをみなさんに伝える事が、神戸のサッカーの盛り上げにつながると信じて頑張っていきたいと思えます。

【広報委員長 松下治正】

WEB版神戸のサッカー http://www.kobe-fa.gr.jp/

神戸のサッカーと健康をアシストします。

須磨区医師会 サッカークラブ有志

名谷

てい小児科 (小児科・内科・アレルギー科) ☎078-792-5701 須磨区北落合3丁目28-3

益子整形外科 (整形外科) ☎078-797-3131 須磨区白川台6丁目23-2

妙法寺

高石内科クリニック (内科・小児科・循環器科・消化器科・呼吸器科・放射線科) ☎078-741-2052 須磨区妙法寺寺界地92-11

原医院 (内科・小児科・循環器科) ☎078-743-7300 須磨区横尾1丁目9-1

月見山・須磨寺

清本整形外科クリニック (整形外科・リハビリ科・外科) ☎078-732-1213 須磨区天神町4丁目4-35

林産婦人科診療所 (産婦人科) ☎078-731-0730 須磨区行幸町4丁目2-7

村上眼科医院

(眼科) ☎078-731-0056 須磨区月見山本町1丁目5-26

新須磨病院

(各科・スポーツ外来) ☎078-735-0001 須磨区磯馴町4丁目1-6

坂宿

梶川眼科医院 (眼科) ☎078-732-0091 須磨区前池町3丁目4-1

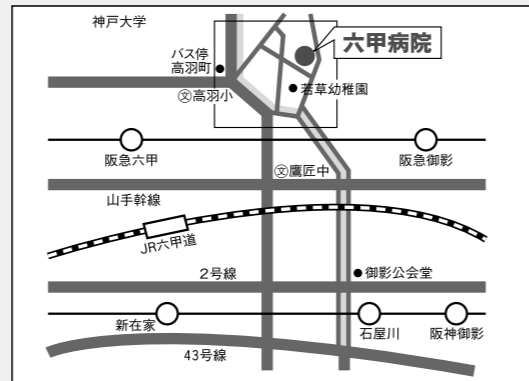
益子産婦人科医院 (産婦人科) ☎078-732-4103 須磨区戎町3丁目5-15

《モットー》 患者さんに優しく易しい病院 国家公務員共済組合連合会 六甲病院

〒657-0022 神戸市灘区土山町5番1号 TEL 078-851-8558 FAX 078-851-3906 http://kkrorjp/rokkou

《診療科》 内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・外科・整形外科・リハビリテーション科・緩和ケア (ホスピス) 科・眼科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・放射線科・東洋医学科・健康管理センター (人間ドック) スポーツ外来

《六甲病院への交通》 阪神御影・JR六甲道・阪急六甲から神戸市営バス⑩六甲ケーブル下行き。高羽町下車。陸橋渡る。徒歩5分



兵庫国体をめざして!



5月21日(土)、神戸市立港島中学校で神戸市トレセンU-15と兵庫県トレセンU-15の練習試合がありました。この日は修学旅行の影響で、ディフェンダーの多くが欠席していましたが、気合の入ったゲーム (20分×3) が行われ、県トレセンが2対0で勝利しました。

兵庫国体より対象年齢改革!

皆さんもご存じの通り、2006年には兵庫国体が開催されます。国民体育大会のサッカー競技は、世界に通用する人材を育成する、高校1年生の年代に公式戦を経験させるという意図からカテゴリーが変更になり、U-16の大会となりました。兵庫県で行われる大会ですので、優勝を目指して本年度から強化練習がスタートします。神戸市のトレセン活動では、一人でも多くの選手を県代表に送り込もうと計画的に強化が図られています。3月の上海キャンプもその一つ。(4面に掲載) 神戸市から県を代表して活躍できる優秀な選手育成が目標です。U-20日本代表はここ数年、ワールドユース選手権にアジア代表として出場する力をつけては来ているものの上位進出は99年準優勝以外果たせていない。これはその弟分に当たるワールドユースU-17選手権にて予選敗退を続け、世界を経験していないことに要因がある・・・というのがJFAの分析です。しかし日本

の学校制度・期分けが世界標準とずれていること、高校1年生になってすぐの6月にアジア予選が行われる(U-17選手権アジア予選は本大会1年前、つまり16歳時の6月・日本で言えば受験が終わってすぐの6月である) ことがハンディといわれています。これを克服し打ち勝ていかなければ限り日本のU-16世代はレベルアップしていくことは無く、ひいては日本代表の強化には繋がっていきません。日本サッカーをよりレベルアップさせサッカーが発信する心豊かなスポーツ文化の発展を成し遂げるには、この国体の年齢制限(16歳以下) 規定を設けることなくしてありえないとさえ思われます。この規定により全国各地が強化に取り組むことになり、同時に過密日程になっている高校3年生年代の環境整備も出来るというわけです。(文責: 技術委員長 昌子 力)

【トレセン活動って何?】

トレーニングセンターを省略してトレセンといいます。それぞれの地域毎に大きな可能性をもっている選手を集め、研修を受けたコーチが指導します。神戸市・兵庫県・関西・日本とつながり、それぞれの年代の代表選手を選考する場でもあります。

コーチは毎月の第2金曜日、午後7時から「磯上球技場」に集まり、テーマに従って研修を行っています。

(3種)

神戸のサッカー

第18号 2005.6.1 (年3回発行)

発行: 神戸市サッカー協会 〒651-0085 神戸市中央区八幡通2丁目1-10 三木記念神戸市スポーツ会館内 TEL (078)232-0753 FAX (078)232-4647 企画・制作: 神戸市サッカー協会広報委員会 発行責任者: 榎原 徹夫 一部 100円

